

米テック企業で組合設立の動き（2021～2022年）

	社名	内容
A	アップル	6月18日、メリーランド州で同社として米国初の労働組合の結成が決まる。
B	アマゾン・ドット・コム	4月1日、ニューヨーク市スタテン島の物流施設で、同社として米国初となる労働組合結成が決定
C	アルファベット（グーグル）	2021年1月4日、アルファベットと子会社のグーグルの従業員が労働組合を結成

『日本経済新聞』 2022年6月20日、ほか

- A メリーランド州タウンソンにあるアップルの直営店で従業員約110人の投票の結果
 労組結成に賛成65、反対33
 IAM（国際機械工・航空宇宙労働組合、30万人超、AFL-CIOに加盟）の一部に。
 アップルの直営店は米国に約270。
 アップルの従業員数は世界で約15万4000人。

- B 4月1日の開票で労組結成への賛成は2654、反対票を500以上上回る。
 AWU（アマゾン労働組合）は物価高を踏まえた給与や手当の調整を要求。
 最低時給を18ドルから30ドルへと引き上げを求める。
 アマゾンの物流施設は米国に300超。
 アマゾンの米従業員は60万人超。

アラバマ州ベッセマーにあるアマゾンの物流施設（従業員6000人）でRWDSUに加盟する
 かどうかの郵便投票が2月に →4月9日否決：賛成738、反対1798
 RWDSUとは、Retail, Wholesale and Department Store Union。約7.5→6万人。
 アマゾンでは物流施設周辺の大気汚染などを問題視する社員が2019年に組織的な活動。

- C 米グーグルと親会社のアルファベットの従業員ら226人超が労働組合を結成。
 CWA（米国通信労働者組合）が支援。約60万人
 その後、AWU（アルファベット労働組合）の組合員は800人超。
 グーグルでは2018年に3000人超の従業員がAIの軍事利用に反対する署名活動に参加。